

東京都と神奈川県における水産業の被害状況

朝比奈 潔

日本水産学会企画広報委員（関東支部）

東京都と神奈川県については、被害が比較的軽微であったため、都県の水産課に対して行った聞き取り調査の結果を簡単に記しました。ただし、神奈川は公表をプレスリリースの範囲にとどめてほしいとのことで、被害金額などを省略してあります。

東京都

この度の震災による東京都における漁業被害は、漁船と漁船がぶつかり軽微の破損があった程度でした。東京湾の埋め立て地における地盤の液状化も、漁業や水産業には直接影響しなかったようです。

神奈川県

神奈川県の漁協別の被害は以下の通りでした。
横浜市：市管理の柴漁港で若干の亀裂。/ワカメ、コンブ養殖筏が破損、収穫予定のワカメ、コンブに被害。/ノリ養殖筏も壊れたが復旧。/金沢漁港に係留していたプレジャーボート7隻沈没（その後引き上げ）/栈橋の

一部が破損。

横須賀市東部：ワカメ養殖筏2ヶ所の全壊により収穫予定のワカメに被害。/ノリ養殖筏の破損。

横須賀市大楠：ワカメ養殖筏の破損により収穫予定のワカメに被害。/4つの活魚いけすが壊れ活魚（カタクチイワシ）が逃げる。

長井町：多数のワカメ、コンブ養殖筏が破損、収穫予定のワカメ、コンブに被害。

上宮田：ワカメ、コンブ養殖筏が津波により1ヶ所に寄り破損。

みうら：金田湾定置網2ヶ続で被害。

小坪：5軒の養殖ワカメ筏全損。

鎌倉：1軒の養殖ワカメ筏全壊。

小田原市：操業中の刺し網流出。

内水面漁協：酒匂川の養殖場で飼育中のアユが池から飛び出す。